

脳卒中ってどんな病気？

わが国の脳卒中による死亡者は年間11万人を超え、がん・心臓病・肺炎に次ぎ第4位です。脳卒中には、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などがありますが、脳梗塞が多数を占め、また脳卒中は寝たきり状態になる最大の原因でもあります。

脳卒中とは脳の血管が破れたり、詰まったりして起こる病気です。

この中で脳の血管が細くなったり、詰まったりするものが脳梗塞です。

脳梗塞の原因には高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙などによって脳の動脈硬化が起こり、やがて詰まってしまう脳血栓症や、不整脈などにより心臓の中で血液の固まりができ、これが血液の流れに乗って脳血管を詰めてしまう脳塞栓症があります。

脳の血管が破れて、脳の中に出血する病気が脳出血です。高血圧が長く続くことにより脳の細い動脈が変性して破れて出血を起こします。

脳の血管の分かれ目の部分に動脈瘤という血管のコブができ、そのコブが破裂するのが、くも膜下出血です。

脳梗塞や脳出血の症状は、片側の手足の麻痺や感覚障害、呂律がまわらない、言いたいことが言えない、言葉が理解できない、片目が見えなくなる、視野の半分が見えなくなるなどがあります。脳出血の場合、頭痛、嘔吐を伴うことがあります。くも膜下出血は、「ハンマーで殴られた様な強い痛み」と言うような激しい頭痛が起こります。また嘔吐したり意識を失ったりする様なこともあります。

くも膜下出血や脳出血は多くの場合は頭部CTで診断ができます。脳梗塞は発症早期には頭部CTでは診断がつきにくく、頭部MRIで診断することが多いです。

脳梗塞の治療は発症から短時間であれば、血栓を溶かす薬を注射することで詰まった血管を再開通させる治療がありますが、ある程度、時間が経過した場合や発症時間がはっきりしない場合には、抗血栓剤や脳保護剤を投与します。脳出血は、血腫が大きい場合には手術で血腫を取り除きますが、血腫が小さい場合には血圧管理を行い血腫の増大を予防します。

くも膜下出血の治療は、脳動脈瘤が再破裂しないように手術で動脈瘤の根本にクリップをかけるか、動脈内にカテーテルを入れて動脈瘤内に金属のコイルを詰めて再破裂を予防する方法があります。

いずれの場合も手足の麻痺や言語障害などがある場合は、機能回復のために早期からリハビリテーションを行います。

脳卒中は一旦発症すると永続的な後遺症を残す可能性が高く、また生命に関わることもあるため、適切な治療を行うことは必要ですが、その予防も大切です。定期的に健康診断を受けていただき、高血圧や糖尿病、脂質異常症などがある方は、適切な治療を受けられることをお勧めします。また、脳卒中が疑われる症状がある方は、早めに受診されることをお勧めします。症状はないが心配な方や、くも膜下出血の原因である脳動脈瘤がご心配な方は、脳ドックを受けられることをお勧めします。



脳神経外科 永島 博

第24回公開講座

2019年2月2日第24回公開講座を行い、210名の方の参加をいただきました。今回は、摂食嚥下の話として「口から老いる～オーラルフレイルについて～」を当院言語聴覚士の瀬木谷より、検診・内視鏡の話として「胃がん検診・大腸がん検診～結果の解釈、その後が大事です～」を消化器外科医師の田中より、とこれから力を入れていこうとしている分野のお話をさせていただきました。アンケートでも大変参考になった、毎回楽しみにしていますとの声もいただきリピーターの方もだいぶ増えてきています。また、好評のリハビリ体操、講演前には介護・健康無料相談会、転倒危険度測定もおこないました。

次回は2019年6月8日13：30から受付開始、無料相談会等をおこない講演開始は14：30を予定しています。お気軽にお越しください。

地域連携室 長島



BLS研修について

BLS(一次救命処置)とは、心肺停止または呼吸停止に対する胸骨圧迫と人工呼吸からなる肺蘇生法(CRP)、そしてAEDの使用を主な内容とします。

当院では、全職員を対象としてBLS研修を実施しました。研修内容は、数人のグループに分かれ人形を使用し実技演習を行います。

研修の流れとして

周囲の状況確認→意識、呼吸の確認→応援を呼ぶ→胸骨圧迫開始→気道確保→AEDによる除細動

以上を繰り返し行います。

BLSは定期的な研修が重要となる為、当院では毎年全職員を対象として研修を行い、BLSの質的向上を目指しています。

看護部 小松



病院De Art ～病院で上質なアートを～

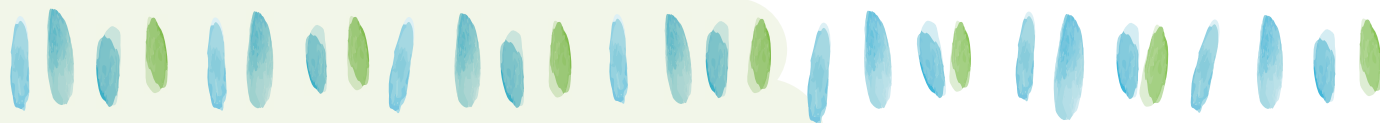
当院では、患者様の癒しと地域に根ざした病院となるべく院内にアートを展示する活動を行っています。ここでこれまでの6作品を簡単にご紹介します。

第1弾は茂手木秀行氏のコニカミノルタプラザ出展作品「星天航路」。星の輝きと無機質な人工物のコントラストが印象的な写真でした。第2弾は、向瀬杜子春氏のインド先住民の子供たちの素朴な笑顔にあふれた写真と西英一氏のニューアーク国際版画コンクール入選の抽象的なシルクスクリーン。第3弾は、佐藤かおり氏によるイラスト「花魁シリーズ」と「フラメンコシリーズ」。第4弾は、当院の院長、田辺知宏氏による自筆イラスト。色彩豊かなパステル調のイラストが印象的で愛犬ボンド君の世界旅行がモチーフでした。

現在、第5弾として新川佳代子氏による代表作「inverted」など立体イラストを展示頂いております。

東川口病院『病院De Art』今後も数多くのアートを提供しますのでご期待ください。

総務課 市川



薬剤科のご紹介



当院には現在11名（うち非常勤1名）の薬剤師がおり、2階にある調剤室で働いています。

主な業務内容として、院内の薬剤師は入院患者様の薬の調剤を行っています。また、入院患者様のもとへ直接うかがい、薬の効果や飲み方などについて説明を行っています。

薬に関して不明なことや不安なことなどがありましたら、お気軽にご相談ください。

薬剤科 荻原



東川口病院理念



皆さんに愛し愛される病院となること

理念の実行方法

1. 適切な医療を実践、提供し、患者様の健康のサポーターになります。
2. 近隣医療機関と連携を密にとります。
3. 働き甲斐のある職場を皆でつくります。
4. 人材の育成の機会をつくり、活気のある病院になります。
5. 健全経営を維持し、継続して良質な医療を提供できるようにします。



東川口病院 外来診療について

【受付時間】 午前 (9:00~12:30) 午後 (14:00~17:15)

平成31年4月1日現在

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
もの忘れ外来	14:00~16:30			○			
循環器科	午前	○	(予約制) ○	○	○		11:45受付終了 ○
	午後		(予約制) ○		○		
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
骨粗鬆症外来 (予約制)	15:00~16:30					○	
外科 消化器外科	午前	○	○	○	○	○	9:30から診察 呼吸器外科月1(予約制) ○
	午後		○	○	○	○	
脳神経外科	午前	○	1/15、2/12、 3/15 休診 ○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
皮膚科	午前		○		○	○	
	午後	○		○	○	○	
泌尿器科	午前				○		
	午後				○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	16:45受付終了 ○	15:00から診察 ○		第4週 15:00から診察 ○	15:00から診察 ○	○
	予防接種 (予約制)		14:00~15:00 予防接種	14:00~17:15 予防接種		14:00~15:00 予防接種	
耳鼻咽喉科	午前	○	○		○	○	○
	午後	○	○		○	○	

☆救急対応、緊急手術等やむを得ず診察時間の変更となる場合がございます。
 ☆お電話での診察予約、お薬のご依頼はお受けしておりません。
 ☆各診療科の担当医師については病院ホームページを閲覧していただくか、総合案内までお尋ねください。
 ☆その他ご不明な点等につきましては総合案内までお問い合わせください。
 ☆脳神経外科は4月16日、5月14日、6月11日、7月9日、8月13日、9月17日は休診となります。



現在の病院DeArt

病院DeArt第六弾は画歴65年の父オノノブアキと、版画家・ジュエリーアーティストの娘オノサチコ作品。具象の道を突き進む父ノブアキが描く旅先での風景や静物画。抽象の世界を彷徨う娘サチコが刻む銅版画が並びます。



上尾中央医科グループ 医療法人社団協友会 東川口病院

内科・神経内科・消化器内科・外科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・小児科
皮膚科・耳鼻咽喉科・循環器科・泌尿器科・リハビリテーション科・麻酔科

携帯サイト・QRコードから簡単アクセス!
 当院Facebookもあります!是非ご利用ください。

〒333-0801
 埼玉県川口市東川口2-10-8
 TEL:048-295-1000
 FAX:048-295-5501
<http://www.e-kawaguchi-hp.jp>



※東川口病院へのアクセス方法※

- ・ JR武蔵野線東川口駅下車 徒歩5分
- ・ 埼玉高速鉄道(南北線直通)東川口駅下車 徒歩5分

